

---

# ある日常のできごと

藤原

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ある日常のできごと

### 【Nコード】

N4497N

### 【作者名】

藤原

### 【あらすじ】

妻子のある三十代サラリーマンの、暇つぶしのようなエッセイ。

朝から躰が非常にだるい。それでもうだうだと寝て過ごせる体質ではないので、7時には、床から這い上がりシャワーを浴びてがっくりといつもの定位置に落ち着いたのだけれども、ん、やはり頭の中がさっぱりしない。

水を差し出す妻の指先を見つめながら、昨夜、飲み屋で知り合った女のことを、脳裡に思い浮かべていた。深夜、2時を回ったころだろう、意気投合し、二人連れたって店を出た。自宅のある駅の近くで飲んでいたものだから、多少なりとも人目が気にならない訳ではない。

薄暗い路地を通る時、自然の成り行きで女とキスを交わして胸元に手を伸ばし、白い胸に唇をあてた。しばらくそうしていると、女の手が、洋服を押し上げる形で私を退け、女は、「この近くにホテルがあつたわよね」と囁いた。「ああ、行く?」と、殆ど阿呆のよう目を見つめた私に対し女は「ううん、行かない」と、顔を伏せて即答し、ふふふと含み笑いをした。

男の心理を試された気がしたが、特に厭な印象も受けずに、女が「帰るわ」と言うから、女の住むアパートの下まで送って行った。

「ごはん、子供達の起きる前に食べちゃいましょうか?」

と、妻。煙草をくわえて顔を上げると、同僚と飲んでいたと信じ込んでいる、見慣れた女が微笑んでいた。「ああ、いやっ、まだいい」

立ってベランダに下りると、洗ったばかりの妻の腰巻きが、朝日の下で揺れていた。昨日、妻は和服で外出でもしたのだろうか。

「おーい、こんなところに、人目につくところに腰巻きなんて干すんじゃないよ」と、声は張り上げずに室内に向かつて言うと、妻は急いだようにやってきて、腰巻きを胸に抱く感じて部屋に戻った。

「昨日は献茶式で……暑かったわ」

聞いてもいないのに妻は、そういう訳がましく言うと、何処に干そうかと家の中を歩き廻った。

「衣桁に干せばいいじゃないか」

「衣桁には、昨日、着た着物や長襦袢を干してあるのよ。でも、もういいかしら……」

未だ、腰巻きを抱き込む妻の後を追うようにして和室に入ってみると、そこには嫁入り時に持参したような、色鮮やかな着物が陰干しされていた。

「献茶式ね。」

厳かな式には少々、派手なのではと思った。左手の、人差し指の爪を噛む癖が出たのに気付いたが止めずに、着物を畳む妻の横顔を見ていると、昨夜の、あの女のずしりと柔らかかった胸が、すかし絵のように重なった。

妻から見えぬようにして苦笑いを浮かべ、部屋を出ようとする時に、「おとうさん、ごはん、どうしましょう?」と、また同じ質問を繰り返えされた。

どこかへ行くのかと、いう疑問は胸にしまい込み、答えもせずに書斎へ向かった。途中、子供達の寝顔を見てみようかという気が起こり、子供部屋の扉を開けてみた。

幼い娘たち二人は、蒸し暑いというのになぜか同じベツトで寝ていた。夜中に末娘の方が怖い夢でも見て、姉のベツトに忍び込んだのだろうと、勝手な推測をして書斎に入り、本棚の前に散らかされた末娘のぬいぐるみの数々を、恨めしいような気分で眺めた。

「この部屋を、いずれ、あの子に与えなければな。」

この部屋は今や、隣国に不当占拠された竹島のような状態である。末娘は日に日に、その領土を広げており、最近では、「ゆきの部屋よ」と声高に言うのだ。

気を取り直して、最近、堪りがちな小説の続きでも書こうかしらとコンピューターの前に座ったところで、「ごはん、食べて欲しいんだけど……」と、妻が顔を覗かせた。

椅子を廻して、妻の顔を、半ば、不審な思いで見つめていると、ふと、どうしたことが、可笑しさが胸を衝き上げて、思い切り笑ってしまっていた。妻もつられて笑いだし、小首をかしげて不貞な夫を見ている。

「最近きれいになったな。」

何年かぶりに、妻のことをかわいく思った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4497n/>

---

ある日常のできごと

2010年10月9日10時52分発行